

大津歴まち二科

第3回ワークショッピング

2015年

11月

21日(土)



「木と森の文化史」

講師：小林圭介（滋賀県立大学名誉教授）



当日の
スケジュール

受付開始：13:00

講演：13:30～15:00 小林圭介（滋賀県立大学名誉教授）

観察会：15:30 木の岡ビオトープ（大津市木の岡）

終了予定：16:30

場所：講演 元・正蔵坊（〒520-0035 大津市小関町3-10）／観察会 木の岡ビオトープ（大津市木の岡）

参加費：無料

定員：40名

申込方法

ホームページの申込フォームにてお申込みください（先着順）

ホームページ：www.rekimachihyakka.jp

メール：info@rekimachihyakka.jp

FAX：077-522-2221 / TEL：077-522-2238

主催：歴まち大津の未来を考える会

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会

平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)



講演：「木と森の文化史」

古い昔から、木と森は人間の生活にとって、なくてはならないものでした。今から1万年以上も前の縄文時代には、森でシカやクマなどの狩りをしたり、木の実をとったり、木を切って丸木舟をつくりたりしていました。時代が進むにつれて、木や森の利用のしかたもだんだん変わっていきましたが、人間の暮らしをいつでも支えていたのが森林だったのです。森林は大雨や暴風、土砂崩れなどから人間を守っていました。そのうえ、おいしい飲み水や空気を、いつでも供給してくれました。さらに、森林の四季折々の美しさを昔から多くの人が和歌や俳句によみ、絵画に描いて讚えました。そんな森林と人間の関係や、人間の文化をつくりあげるうえで、森林のはたした役割を考えてみたいと思います。

講師プロフィール



小林 圭介

(滋賀県立大学名誉教授、滋賀県立短期大学名誉教授／理学博士、農学博士)

1940年、長野県生まれ。南極および北極地域の植生研究、地域植生誌の研究、高山帯におけるハイマツ群落の植物社会学的研究、カナダのラバル大学樹木・森林学教室を中心とする「World Dictionary of Trees」の共同研究など数多くの研究歴のほか、滋賀県立短期大学教授、滋賀県立大学環境科学部教授、滋賀文化短期大学学長を歴任。これまで、滋賀県ヨン群落保全審議会会長、賀県公共事業評価監視委員会委員長や、国交省近畿地方整備局や農水省近畿農政局の各種委員、滋賀県や大津市、草津市、東近江市の環境審議会会长や部会長など数多くの役職を歴任。著書には「日本植生誌」「植物社会学－生態学講座4」「滋賀の植生と植物」「滋賀県の自然」など多数。

木の岡ビオトープについて

大津市木の岡町の琵琶湖岸の「幽霊ビル」跡地は、長年人の手が入らなかったためにヨシ原やヤナギ・オニグルミの湿生林が生い茂り、多様な生きものが生息・生育するビオトープとなっている。現在は専門家や地域住民、企業・学校関係者、県で構成する「おにぐるみの学校」を設立して、自然観察会や保全活動などを行っている。



元・正藏坊へのアクセス

- 京阪電鉄 京津線「上栄町」駅より徒歩約 12 分
- 京阪電鉄 石山坂本線「三井寺」駅より徒歩約 10 分
- JR 琵琶湖線「大津」駅 北口（びわこ口）より徒歩約 17 分
- 三井寺駐車場より徒歩約 9 分

※駐車場はありませんので公共交通機関でお越しください。



元・正藏坊について

登録有形文化財。木造平屋建、建築面積一二六平方メートル、切妻造及び入母屋造棟瓦葺。南東側の八疊主室に二間幅の大床と付書院を付し、庭園に臨む三面に縁を廻らす。側廻りは柱上に舟肘木を載せ、垂木を疎らに配る。圓城寺別所の坊として希少な遺構。



次回予告

大津歴まち百科 第4回ワークショップ「仏像・神像」

日時：2015年12月5日（土）

寺島典人（大津市歴史博物館 学芸員）

詳しくはホームページをご覧ください

www.rekimachihiyakka.jp

主催：歴まち大津の未来を考える会

本プロジェクトについて

本プロジェクト「大津市中心部の文化遺産を活用した地域活性化事業」は、歴まち大津の未来を考える会（代表：福家俊彦）が、豊かな自然と固有の歴史・伝統を育んできた大津市が有する歴史的文化遺産を斬新なアプローチで「楽しみ、考え、行動する」ことにより歴史的風土及び風致の創造的保存と活用を計り、この地域が培ってきた歴史文化に対する関心を喚起し、文化遺産と地域住民との結びつきを強める活動を展開することにより地域住民が誇りを持って暮らせるまちづくりの実現に資することを目指して、各種イベント（ワークショップ4回、フォーラム、モニターツアー）、インターネットを用いた情報発信、リーフレット制作を行います。

本プロジェクトは、平成27年度文化芸術振興費補助事業（文化遺産を活かした地域活性化事業）として実施しています。